

情 報 公 開 文 書

研究の名称	神経伝達関連分子に対する抗体による精神症状の発現機序に関する臨床的・基礎的研究
研究機関の名称	富山大学
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学 学術研究部医学系 神経精神医学講座・准教授 樋口 悠子
研究の概要	【研究対象者】 富山大学附属病院神経精神科に通院中あるいは入院中の統合失調症、初回エピソード精神病患者の方、精神病ハイリスク状態の方、および健常者の方で、過去に当施設にて臨床研究「精神病性障害関連 遺伝子の解析研究」を受けられ、データの 2 次利用に同意されている方。 【研究の目的・意義】 ・研究の目的 統合失調症などの精神病性障害と診断されている方の中には、抗 NMDA 受容体をはじめ様々な自己抗体が陽性である方がおられるという報告があります。今回の研究は、精神病症状を持つ患者さんの血液を調べ、抗 NMDA 受容体抗体等の神経伝達機構関連分子に対する抗体を測定し、症状との関連を明らかにすることが目的です。 ・研究の意義 今回の研究は、精神病症状を持つ患者さんの血液を調べ、抗 NMDA 受容体抗体等各種の神経伝達機構関連分子に対する抗体を測定し、これらの抗体と精神病症状の関連を明らかにすることが目的です。これにより、精神疾患の原因解明や新たな治療法の開発につながる可能性があります。 【研究の方法】 過去に当科の検査で得て保管されている血液検体、および、臨床情報、認知機能検査、脳波、MRI などの情報を本研究で二次的に利用させていただきます。 なお、本研究で使われるデータは、個人情報については個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工されており、厳重な管理下において研究に活用されます。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2030 年 3 月 31 日 【利益相反の状況】 利益相反はありません。 【研究結果の公表の方法】 あなたの協力によって得られた研究の成果は、提供者本人の個人情報が明らかにならないように配慮した上で、国内外の学会発表や学術雑誌およびデータベース上等で公に発表されることがあります。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	過去に採血した血液検体は、氏名・診療録 ID 等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工し、凍結保存した後、東京科学大学に送付して前述した自己抗体を測定します。自己抗体の有無と、年齢・性別・精神科診断名・既往歴・薬物治療の詳細・脳波・脳画像などの、過去に得ら

	れた情報との関連についても検討いたします。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学 学長 齋藤 滋 東京科学大学病院 医科（医系診療部門）病院長 藤井 靖久 宮崎大学医学部附属病院 病院長 賀本 敏行
研究資料の開示等	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示し、説明いたします。研究結果についても同様です。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学 学術研究部医学系 神経精神医学講座・准教授 樋口 悠子
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等については、下記の窓口で対応いたします。 電話：076（434）7323 FAX：076（434）5030 担当者所属：富山大学附属病院神経精神科 担当者氏名：准教授 樋口 悠子